



4

先鋭的な思想を知る!!

黒田官兵衛

Phrase Collection

戦や交渉の達人だった官兵衛だが、生き様があらわされた名言も超一流！

我が君主は天にあり

官兵衛の願いは戦国乱世を終焉させること。そのために信長、秀吉、家康
らに従い天下統一を目指したが、誰かを天下人にするためではなかった。

神の罰より

主君の罰おそるべし。

主君の罰より

臣下の罰おそるべし

神様や主君は敬うべきであり大事だが、それよりも臣下や領民を守ることが第一で、大切にしなければならないという領主としての官兵衛の格言。

我、人に媚びず、 富貴を望まず

軍師として天下取りを実現させた官兵衛だが、天下人にも媚びへつらうことなく、大きな所領が欲しくて立身出世を目指したわけではなかった。

ひでり

夏の火鉢、旱の傘

必要がないと思われたものも状況や局面が変われば役に立ち、才能を発揮するという、臣下の適材適所や長所を見よと息子・長政に説いた教訓。

官兵衛が遺した人生訓

水五則

「如水」の号を名乗った官兵衛らしく人生の指針を水に例えた遺訓。水のように清く柔軟にあることで理想の生き方を説いたもの。現在も「リーダーの指針」として各界指導者らに愛されている軍師の名言を読み解く！

- ①一つ、自ら活動して他を動かしむるは水なり
 - ②一つ、障害にあい激しくその勢力を百倍し得るは水なり
 - ③一つ、常に己の進路を求めて止まざるは水なり
 - ④一つ、自ら潔うして他の汚れを洗い、清濁併せ容るは水なり
 - ⑤一つ、洋々として大洋を充たし、発しては蒸氣となり雲となり雨となり雪と変じ
霞と化し、疑っては玲瓏たる鏡となりえたるも其性を失わざるは水なり
-
- ①自ら動くことで、初めて他人の心を動かすことができる。②大きな困難に直面しても、自らの信念を曲げず、勢いを増して突き進め。
 - ③絶えずどこかに流れしていく水のように、立ち止まることなく自らの進むべき道を歩め。
 - ④清く正しく生きれば、周囲も影響を受けるし、異なる意見も受け入れられる度量の広さが持てる。⑤人生は、水のように形を変えていくものだ。行き詰ってしまうこともあるが、信念を持ち続ければ見失うことはない。

その5 家臣は我が子です！
家臣を支えた社員第一主義

「人は殺すよりも使ふ」を信条にした官兵衛は、戦国武将としては珍しいヒューマニストです。キリストの洗礼を受け、如水という号も天の道を説いた老莊思想からきています。現在、ビジネスの世界では社員第一主義が成長のカギとして再び注目されていますが、官兵衛も家臣を大切にし、母里太兵衛（後藤又兵衛）を養育し、猛将に育て上げました。罪を犯した家臣を牢に入れるだけではもったいないと労働させたなどです。工兵

武功をあげた者への恩賞は手厚く、家臣に愛された殿だった



5 鳥取城の戦い

(1581年6~10月)

VS山名豊國、吉川経家

播磨を平定し、因幡に侵攻した秀吉軍は、城主の降伏後も毛利の援軍・吉川経家が籠城する鳥取城を包囲。事前に城周辺の兵糧を買収し、周囲の農民も城に追い込む「鳥取の飢殺し」といわれる苛酷な兵糧攻めを実行。わずか数カ月で開城させる。三木城の戦いの最中に病死した半兵衛（谷原章介）に代わり官兵衛の存在感が増し始める。



福原城・上月城の戦い

(1577年11月)

VS福原助就、上月景貞 3



秀吉軍の傘下に入った官兵衛は、宇喜多直家（陣内孝則）が東ねる西播磨の福原城・上月城に続けて進行。尼子家・臣家の中山鹿介（別所哲也）らの参戦により陥落に成功する。しかし、息を吹き返した毛利勢の逆襲により、再び奪還されてしまう。三木城攻略を優先した信長が、援軍を派遣しなかったため、尼子家は完全に滅亡する。

備中高松城

6 備中高松城水攻め

(1582年4~6月)

VS安国寺恵瓊

援軍を求めるなど城を攻めあぐねる秀吉に、湿地帯にある城の地形に気付いた官兵衛は水攻めを提案。わずか10日で全長4キロの堤防を築き、城内を水浸しにして敵兵の士気を下げた後、毛利の軍使・安国寺恵瓊（山路和弘）との交渉で城主の切腹と引き換えに降伏させた。最小限の被害に抑え、「戦わずして勝つ」真骨頂を発揮した。



その4 一IT企業も頗負け？
の情報網と抜群の金銭感覚

黒田家は広義明神の御師（おし）のネットワークを使って自薦で財をなしたとも言われていますが、官兵衛は情報とお金の力を重視しました。キリストの洗礼を受けたのも、その情報網で諸国の動静を探ることが目的の一つ。関ヶ原の戦いの際に、状況をいち早く知るために各地の港に船を用意したほか、普段はかなりのケチで有名でしたが、蓄えた財産を惜しみなく使って、関ヶ原の戦い時は九千人の兵を一気に集めるなど、経済感覚にも優れていきました。

スに変えてしまいました。

本能寺の変でカリスマ社長・織田信長が亡くなったとき、丹羽長秀ら各地の織田軍団は、兵士（社員）が逃げ出し、崩壊（倒産）します。官兵衛がいた秀吉軍も崩壊のピンチでした。しかし官兵衛は、泣き崩れる秀吉に「仇を討つて、天下を取る好機です」と奮起させ、周りの武将たちにも「秀吉が天下になれば大名になる絶好の機会」とその気にさせて、中国大返しを実行する。山崎の戦いにも勝利し、最悪のピンチを千載一遇のチャンスに変えました。

光秀が信長を討たれた理由は諸説があり、まだに真相は不明…

本能寺シヨツク！
を千載一遇のチャンスに！！

1 青山・土器山の戦い (1569年5~6月) VS赤松政秀

3千の兵で攻めてきた龍野城主・赤松政秀(団時朗)に対し、3百騎の黒田軍は姫路城の西・青山の地で撃退。しかし態勢を立て直した赤松軍は再び攻勢に転じ、土器山で官兵衛は窮地に。父・職隆(柴田恭兵)の援軍を得て、満身創痍の寡兵で数百人の敵を討ち取るが、小兵衛(塙見三省)・武兵衛(永井大)父子ら多くの重臣を失ってしまう。



黒田官兵衛のスゴさが分かる 4大分析講座

天才軍師の智略を知る!!
黒田官兵衛

Battle Map 戦績

官兵衛の策略の基本は「相手の機先を制する」。奇襲で先手を打ち、状況を見極めた兵糧攻め、水攻めなど多岐にわたる頭脳戦を一挙紹介!

長浜城

琵琶湖

安土城

中国大返し・山崎の合戦 (1582年6月6~14日) VS明智光秀

毛利と和睦し、後顧の憂いを絶った官兵衛は、備中高松城から明智光秀(春風亭小朝)が構えた山城国・山崎までの約2百キロをわずか10日で引き返す中国大返しを実行。毛利氏の旗を立て味方につけたと思わせる策略で、動搖する織田家の武将を味方に引き込み、数万の大兵力で山崎の合戦に挑み、明智軍を破り秀吉を天下人にした。



2 英賀の戦い (1576年5月) VS浦宗勝、三木通秋

官兵衛の主君・小寺政職(片岡重太郎)が織田方についたことを知った毛利方は海上から援軍を派遣。浦宗勝・三木通秋は5千の兵を英賀城に集結し、姫路城を攻略しようとする。わずか千人の兵の官兵衛は、敵が上陸するのを狙い、農民に旗指物を持たせて大軍がいるかのように見せかける策略で奇襲をかけ、これを撃ち破った。



官兵衛、幽閉!!

織田を裏切った荒木村重(田中哲司)の説得に向かった官兵衛だが、失敗して地下牢に幽閉される。1年後、城攻めの混乱に乗じて栗山善助(濱田岳)らが救出するが、苛酷な獄中生活で髪の毛は抜け落ち、不自由な体に。



その2
決して裏切りません! 幽閉で築いた官兵衛印ブランド

ついでに、巴力正直に首を縛り、自分の城だったにも関わらず、姫路城を織田家に提供。そうやって一心同体を示したことは、當時としては画期的なことだったのです。

官兵衛は織田から毛利に寝返つた荒木村重の説得に失敗し、「毛利につきます」と嘘をつけば解放されただけで、1年も地下牢に幽閉されます。しかし、体が不自由になってしまった代わりに、「絶対に裏切らない男」という評判、すなわちブランドを得ました。中國大返しや北条攻めなど勝負どころでの交渉に成功したのは、この評判が要因かもしれません。

幽閉生活によって左脚の関節に障害が残り、歩行が不自由に

“現代の軍師” 経営コンサルタントも絶賛!! 黒田官兵衛のココが

官兵衛の最大の功績は、戦国乱世の終焉に貢献したこと。戦わずして勝つ手法や、黒田家当主として一族を生き残らせるための戦略を現代に置き換えて解説!

福永雅文

戦国マーケティング株式会社代表。黒田官兵衛に魅せられ、経営コンサルタントになる。



第8回で秀吉に初めて会った官兵衛はその実行力を舌を巻く

Photo=松村重臣 Interview=中野龍